

保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校
校長だより

2024(令和6)年
10月30日(水)

第13号

今年のカボチャは 39.85 kg。

感動の安倉祭ありがとうございました～『無限大数』の安倉祭～

10月25日(金)。安倉中学校全体が「文化の秋」「芸術の秋」「音楽の秋」を満喫した一日でした。あれから4日経ちましたが、あの日の熱い興奮こうふんとほんのりとあったかい感動は今でもじんわりと胸の奥に残っています。

また、今回の安倉祭には、多くの保護者の皆様にお越しいただき、生徒たちの活動の様子をご覧いただきましたことを心より感謝申し上げます。今年も安倉中生たちは学級や学年、委員会活動、部活動などにおいて、それぞれの仲間と協力し、素晴らしい力を展示やステージで発揮することができました。

「展示」は、一つひとつの作品に地道な取組の成果を感じるもので、アイデアに悩み、制作に悩み、締めきりしめきりに悩むなどの過程かていが多くの作品から感じられ、青春(アオハル)の魂たましいにあふれるものでした。また、他者の作品をスタンプラリーとともにしっかりと味わっている鑑賞かんしょうの姿勢も立派でした。

「合唱発表会」では、どのクラスもどの学年も担任や学年の先生とともに創り上げてきた成果をしっかりと披露していました。1年生は、安倉中での初めての学級・学年まとまったの発表であり、初々しさの中に中学生として頑張らねばという気持ちが感じられる内容でした。2年生は、中堅学年としての成長が感じられる安定した声質で、表現力の豊かさを意識した取組に、来年の最高学年での発表が楽しみとなる歌声でした。そして、3年生。声質も大人の雰囲気ふんいきで「さすがっ!!」と思わせるものでした。出来映えはどのクラスも満点で素晴らしかった。声量の迫力はくりょく、ハーモニーの美しさだけでなく、自分たちの取り組んできたものを全て出し切ろうとする一生懸命な気持ちが歌声、表情、所作しよさから痛いほど伝わってきて、聞いている私たちに大きな感動を与えてくれました。本番の合唱そのものの素晴らしさもありますが、それまでの取組の過程の立派さにも最高学年としての模範もはんを見せてくれたことにも大きな拍手を送りたいです。また、1～3年のそれぞれの学年合唱は心の震えふるが止まりませんでした。安倉中の3学年がそれぞれ一丸いちがんとなっているという実感が伝わってきて、聞いている全ての人たちに感動を与えられたはずです。今回の合唱発表会の一つ一つの合唱を聴きながらこんな経験の中から人の心は豊かになっていくものなんだろうなとしみじみ感じたのでした。おまけに先生た

ちの合唱「さくら(独唱)」も皆さんの青春仲間に入れてもらい(?)盛り上げてくれましたね。

また、「ステージ発表」は、生徒会執行部発表や南中ソーラン、吹奏楽部と、どれもこの日に向けて懸命に取り組む努力の跡が感じられる見事なものでした。ステージとフロアが一つとなって安倉中学校としての空気を創り上げていこうとする一体感が感じられる青春力そのものでした。どの場面でもまさしく「安倉中愛で安倉中がひとつに」を感じる一日でした。(一部の鑑賞の中で、盛り上げるようお願いされていた人たちがうまく表現できず、鑑賞マナーができていないと思われるような場面がありました。が、決して場を乱そうとしたのではないということです。どうぞご理解ください。)

そして、閉会式を迎えました。合唱の結果発表があるドキドキの一瞬です。結果発表直前の沈黙の間で、隣の人と手をつなぎ合ったり、両手を合わせて祈ったりの緊張の後、入賞クラスの曲がピアノ伴奏で流れました。「やったー！」という大きな歓声と賞に入らなかったクラスの人たちのため息とが入り混じり合った瞬間。悲喜こもごもでした。最優秀賞の人たちの満面の笑顔はとても素敵でした。それと同時に賞に入らなかった人たちの、残念で仕方ないけれど、しっかりと受け入れないといけないという何とも言えない表情や悔しさに涙する姿も感動的でした。全クラスに最優秀賞をあげたい気持ちでした。

そして、表彰式で賞状をお渡しする時、最優秀賞のクラスもそれを逃しながらも優秀賞となったどのクラスの代表もとても穏やかな表情で、自分たちはしっかりとやりきったんだと言わんばかりに小さな微笑みを浮かべた表情だったのは忘れることはできません。3年2組代表の乾さんにお渡しする時には「ベガホールへ行ってらっしゃい！」という私の言葉に満面の笑顔で元気よく「はい！」と答えてくれた清々しさも素敵でした。どのクラスも結果だけに囚われないそれまでの取組は何事にも代えがたい勲章であり自分たちの大切な思い出となるだろうことも容易に想像ができます。あっぱれでした。

安倉中生が色々な場面でよく頑張った取組期間であり、心に残る一日でした。みんなに成功おめでとうと伝えたいです。そして、素敵な感動をありがとうございました。

